

保証

- 同封しております「保証書・盗難保険加入申込書」記載の保証規定をよくお読みください。
- 運送用ケースに付随する包装材は、修理の際に製品の保護のために必要となりますので、大切に保管してください。

(オートレーザー製品
(タジマQ便サービスについてのお問い合わせは)

タジマメンテナンスセンター
□ 0120-470282
フリーFAX.0120-243324



△当製品は精密電子部品を使用しています。
外部からの強い衝撃により精度不良となるおそれがあります。
お取り扱いおよび保管には充分に注意してください。
尚、お客様が本説明書に記載された警告及び注意に従わないことに起因して、損害が発生した場合には、
当社はその責を負いません。ご了承ください。

株式会社 **TJMデザイン**

本社/〒174-8503 東京都板橋区小豆沢3-4-3
フリーダイヤル □ 0120-125577
ホームページ <http://www.tajimatool.co.jp>

タジマツール

レーザーライン墨出し器 受光器対応タイプ

オートレーザー 縦・横
TAJIMA AUTO LASER TATE・YOKO MODEL:AL-TY3

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

お使いになる前に、この取り扱い説明書を必ずお読みください。
本製品の性能をご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただけようお願い致します。

お読みになった後は、後日必要になることがありますので、
必ず保存してください。

※受光器を
使用される場合は、
必ず専用受光器
レーザーレシーバーを
ご使用ください。



本機を正しく使う為のご注意

△安全上のご注意

■絶対に分解しないでください。

本機を分解、改造すると故障、感電の原因になります。

■レーザー光をのぞかないでください。

レーザー光が目に入ると視力障害を起こすことがあります。

△使用上のご注意

■使用前使用後には、必ず精度確認をしてください。

取扱説明書の簡易精度チェックの方法通りに、使用前使用後に必ず精度確認を行ってください。精度確認を怠ると、故障による誤測定の原因になります。

詳しくは「精度の確認」をご覧ください。

■受光器は専用受光器「レーザーレシーバー」を使用してください。

レーザーレシーバー以外の受光器では精度を保証できません。絶対に使用しないでください。

■故障したまま、本機をお使いにならないでください。

すぐに使用を中止して、販売店に修理をご依頼ください。

詳しくは、6ページ「故障かなと思ったら」をご覧ください。

■倒したり落したりしないでください。また、ゆらさないでください。

本機に強いショックをあたえないでください。また、故意にゆらしたり振動をあたえないでください。故障の原因になります。

■濡らさないでください。

防水構造ではありませんので、雨中で使用したり、濡れたまま使用しないでください。電気部品がショートして故障の原因になります。

■本体を移動する際は、スイッチをOFFにしてください。

スイッチはOFFと同時に本体内部がロックされます。故障の原因になりますので、スイッチは途中で止めないで最後まで戻してください。

■運搬する場合は、収納ケースに入れてください。

ケース収納時も強いショックや振動をあたえないでください。車での移動の場合は、助手席のシートの上に置き、動かないよう固定してください。また、送る場合は輸送用外箱に入れてお送りください。

■レンズ、カバーガラスについて

射出窓のカバーガラスには指を触れないでください。

管理上のご注意

■次のような場所には置かないでください。

●直射日光があたるところや暖房器具の近くなど高温になるところ。
(-5°C ~ 40°C の範囲でご使用ください。)

●ダッシュボード、トランク、荷台や直射日光下で窓を閉め切った車内。

●磁気を帯びたところ。 ●ホコリの多いところ。 ●振動の多いところ。

●濡れたところや湿気の多いところ。

■高温下での保管について

本機には、十分な寿命を持つ半導体レーザー(以下LD)を使用しておりますが、高温下での使用は、LDの寿命を短くてしまいます。夏場の自動車内での放置等で本機が著しく高温になってしまった場合は、十分に外気で冷却してからご使用ください。

■結露について

寒いとき、暖房をつけた直後など、本機内部に露(水滴)が付き、作動しないことがあります。結露が確認されたら、電源を入れない状態でそのまま数時間放置して頂き、電源を入れれば正常に動作します。何時間たっても作動しない場合は、メントナンスセンターにご相談ください。

■お手入れについて

●カバーガラスが汚れると、ライイン光が暗くなります。その場合、市販のレンズクリーナーで拭き取ってください。

●本体の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。シンナー等の溶剤では絶対に拭かないでください。

■保管について

●必ずケースに入れて保管してください。

●長時間使わない場合は電池を外してください。

●子供の手の届かない所に保管してください。

免責事項

●取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。

●本製品の精度確認を怠ったことによって生じた付随的な損害(事業の利益の損失・事業の中止など)に関して、当社は一切責任を負いません。

●火災・地震・第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

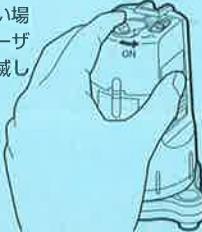
使用方法

1. お使いになる前に電池ボックスに単三乾電池を2本正しく入れてください。



2. スイッチをONにします。

※レーザー光が出ます。電池残量が少ない場合は、レーザー光が点滅します。



仕様

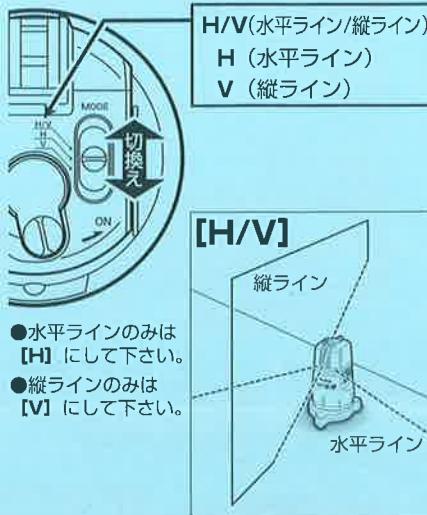
品名：レーザーライン墨出し器
オートレーザー縦・横
・AL-TY3U(受光器付き)
・AL-TY3(受光器なし)

光源：可視光半導体レーザー
出力：1mW以下(クラス2)
波長：635nm
縦ライン精度：5mで±1mm
水平ライン精度：5mで±1mm
自動補正範囲：±3°

制動方式：マグネットダンバー方式
電源：単3形アルカリ乾電池2本
連続使用時間：約30時間(フルライン使用時)
使用温度：-5°C~40°C
電池寿命警告：レーザー光点滅
外形寸法：直径95mm×高さ167mm
重量：本体約650g(電池含む)
キャリングケース収納時約1.7kg
ライン幅：5mで約1.5mm

※改良のため予告なく、仕様・外観を変更する場合があります。

3. 投射ラインの切換えができます。



- 水平ラインのみは[H]にして下さい。
- 縦ラインのみは[V]にして下さい。

特徴

- 半導体レーザーの採用により、小型、軽量で持ち運びにも便利です。
- 電源は、単3アルカリ乾電池2本で連続30時間(フルライン使用時)、じまなコードがありません。
- 広い自動補正範囲(±3°)により設置が簡単で、自動補正範囲を超えた場合は、レーザーラインが消えます。(角度検出センサー使用)
- 専用エレベーター三脚に取り付けると水平ラインの高さを自由に調節することができます(図1)。本機は直接三脚(5/8インチネジ)に取り付け可能です。
- 樹脂ボディーにより風の影響を受けにくく、内部へのゴミの侵入も防ぎます。
- 乾電池の交換時期は、レーザー光線の点滅により、知ることができます。電池の寿命ですので、アルカリ乾電池2本を同時に交換してください。
- スライド微調整機能付360°回転プレートを標準装備しているため地墨合せが容易です。
- 専用受光器/レーザーレシーバーが使用可能で。



■付属品

1) 透明赤色板

レーザー光が見にくい時に、透明赤色板を通して見ると、レーザー光が見やすくなります。



2) 単3形アルカリ乾電池2本

AL-TY3は別売

3) 専用受光器

レーザーレシーバー 品番:LA-RCV
明るい場所でレーザー光が見えにくい時や、半径20mまでの広い場所で作業をしたい場合に便利です。

※詳しくはレーザーレシーバー(LA-RCV)の取扱説明書をごよくお読みください。



4) 受光器ホルダー 品番:LA-JHOLDER

レーザーレシーバーをスタッフや柱などに固定する場合に使用します。



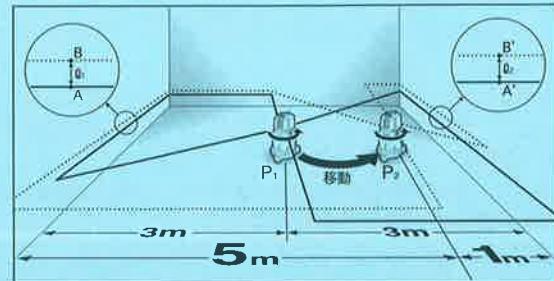
5) 9V形アルカリ乾電池1本

精度の確認

本機を使用する前、使用した後に、必ず下記の方法で精度確認をしてください。
使用前使用後の精度確認により、故障による誤作業を防ぎます。

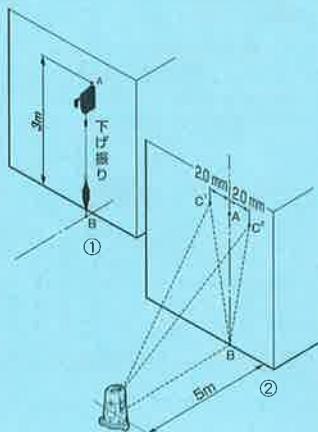
〈水平ライン精度の確認〉

- 約6m離れた壁(又は柱)の中央P₁に本機を設置し、ラインを出射します。
- 壁面に出射した水平ライン光をマーキングし、本機を反転して同様に壁面にマーキングします。これをA、A'とします。
- 本機をどちらか一方の壁より約1mの位置P₂に設置し、2)で記した方向に出射しマーキングします。これをB、B'とします。
- 2)と3)で記したA、BおよびA'、B'の間隔 ℓ_1 、 ℓ_2 を測定し、 ℓ_1 と ℓ_2 の差が1mm以内であれば正常です。
(図参照)



〈縦ライン精度の確認〉

- 風の影響の少ない既設の建造物の壁を選び、高所3mのポイント1ヵ所をマーキングし、ここをポイントAとします。
- ポイントAから下げ振りを吊した床面のポイントをBとしてマーキングします。(図①参照)
- この壁面のポイントBより5m離れた位置に、本機を設置し整準します。
- 電源スイッチをONにし、レーザー光をポイントBに合わせます。
- そのままの状態で、ポイントAの位置のレーザー光の位置をポイントCとします。ポイントAとポイントCとの差が2.0mm以内であれば正常です。(図②参照)
それ以上の場合は、本機の精度許容差を外れています。
6ページの「故障した時は」をご覧下さい。



故障かなと思ったら

故障かな?

修理をご依頼される前に、次のことを確認してください。

トラブルの状況	ユーザー確認
ライン光が出ない	乾電池は消耗していないか・入れ方は正しいか 本体は十分に水平か(精度補正範囲外)
ライン光が暗い	カバーガラスは汚れていないか
衝撃を与えた場合	「精度の確認」をご覧ください
レーザー光の点滅	新しい電池と取り替えてください

■レーザーレシーバー(LA-RCV)を使用した場合

トラブルの状況	ユーザー確認
レーザーレシーバーが反応しない	レーザーレシーバーの乾電池は消耗していないか レーザーレシーバーの乾電池の入れ方は正しいか

上記の方法で、解決できない場合は故障です。
「故障した時は」をご覧ください。

故障した時は

修理をご依頼される前に、上記の「故障かな?」を見て故障かどうかを確認してください。

- 「保証書」の有無をご確認ください。
購入時にご記入、保管いただきました「保証書・盗難保険加入申込書」に必要事項が記入されているか再度ご確認ください。
- 本機と「保証書」をキャリングケース及び運送用外箱に入れ、お買い求めの販売店にお持ちいただくか、タジマQ便サービス(別項参照)をご利用ください。